

令和5年度 自治会・町内会講座を開催しました

公益財団法人あしたの日本を創る協会では、1月22日に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「令和5年度自治会・町内会講座」を開催しました。自治会・町内会の実践者や行政職員など、全国各地から約40名のご参加をいただきました。



萩原 なつ子さん



草 貴子さん



佐藤 一美さん

第一部は、宮城県仙台市泉区・市名坂東町内会会長の草貴子さん、北海道苫小牧市・拓勇東町内会副会長の佐藤一美さんによる事例発表がありました。

市名坂東町内会では、女性役員が町内会運営を担っており、役員的生活スタイルに合わせた無理のない町内会運営が進められています。集会所の建設、女性コーディネーターを配置しての避難所づくり、子育て支援としてイベントを開催するなど、多角的な取り組みについてお話いた

きました。

拓勇東町内会では、町内会運営のデジタル化を推し進めており、シニア世代の役員に向けたデジタル研修、会議のオンライン化、デジタル技術を活用した行事（多文化共生サマーキャンプ、地域安全マップづくり等）の実施など、先進的な取り組みをご紹介いただきました。

第二部は「自治会・町内会活動の悩み、思いを語ろう」をテーマに、萩原なつ子さん（独



立行政法人国立女性教育会館理事長）の進行でワールドカフェを開催しました。ワールドカフェとは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数で対話を行うことです。今回は6班に分かれ、席替えをしながら、自治会・町内会の課題やその解決方法について話し合いました。各自思いつくままに意見やアイデアを付箋に書き出し、それを基に意見を整理して模造紙に貼り付けていきました。全体の総括では、各班で出された付箋のキーワードをつなげ、即席の川柳が作られました。終始和やかな雰囲気の中、様々な意見が広がる時間となりました。